SEKISUI

エスロハイパー NEWS

◆ エスロハイパー現場リポート『熊本地震 水道配水用ポリエチレン管被害調査』

2016年4月に発生した「平成28年熊本地震」に関して、配水用ポリエチレンパイプシステム協会と連携して、周辺事業体へのヒアリング調査及び管布設箇所の現地調査を行いました。結果、地震被害を受けた熊本県及び大分県内に水道配水用ポリエチレン管は、698km布設されていましたが、被害は確認されず、水道管としての機能を維持しました。

■ 最大震度6強以上が観測された事業体の被害確認結果

熊本県内で震度６強以上を観測した８市町村のうち、水道配水用ポリエチレン管を採用している7事業体の調査を行った結果、水道配水用ポリエチレン管は、147.7km布設されていましたが、被害は確認されませんでした。

表1　最大震度6強以上が観測された事業体の被害確認結果

市町村名	震度階			HPPE管布設延長						HPPE管
	4/14 21:26	4/15 0:03	4/16 1:25	50mm (m)	75mm (m)	100mm (m)	150mm (m)	200mm (m)	合計 (m)	被害確認
益城町	7		7	2,535	7,036	1,685	2134	0	13,390	被害なし
熊本市	6弱	6弱	6強	72,931	7,530	3,860	1085	0	85,406	被害なし
宇城市	6弱	6強	6強	1,345	1,675	765	0	0	3,785	被害なし
菊池市	5強		6強	2,468	1,890	2,035	315	0	6,708	被害なし
宇土市	5強	5強	6強	2,450	4,990	2,170	965	0	10,575	被害なし
大津町※	5強		6強	8,862	9,534	8,292	783	0	27,471	被害なし
南阿蘇村			6強	70	85	210	35	0	400	被害なし
合　計				90,661	32,740	19,017	5,317	0	147,735	

備考：　気象庁 震度データベース検索より、最大震度6強以上の市町村を掲載
布設延長は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会調べ
※　大津菊陽水道企業団の布設延長

■ 水道配水用ポリエチレン管布設箇所の現地調査

最大震度７を2回観測した益城町を中心に水道配水用ポリエチレン管の布設箇所を事前に確認した上で、現地調査を行いました。結果、舗装面及び周辺地盤に亀裂や垂直変位等が発生していましたが、特に問題なく供用されていました。



図1　益城町布設箇所（橋梁周辺）



図2　御船町布設箇所（地盤変状）

積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー

東北支店
土木システム営業所　022(217)0607

東日本支店 土木営業部
東京土木システム営業所　03(5521)0647
関東土木システム営業所　048(646)0160
横浜営業所　045(474)1810
静岡営業所　054(275)0720
甲信営業所　0263(38)1220
東関東営業所　04(7130)0010

中部支店
土木システム営業所　052(957)5305

西日本支店
近畿土木システム営業所　06(6365)4546
中国土木システム営業所　082(224)6219
北陸営業所　076(231)4245
京滋営業所　075(662)3418
四国営業所　0897(57)9125

九州支店
土木システム営業所　092(271)1314

積水化学北海道(株)
直需・ストック営業部　011(737)6330

お客様相談室
【東京】　03(5521)0505
【大阪】　06(6365)4133

●お問い合わせは上記各営業所へ

エスロンタイムズ on the Web
http://www.eslontimes.com
QRコードで アクセスは コチラ！
専用の管理ページでさらに便利！
あなただけのエスロンタイムズ
MYエスロン®